



10月の児童朝会でのお話を簡潔にまとめて紹介します。

10月16日 「あいさついっぱい 학교に」

○3択クイズ（今から言うあいさつの言葉は、どこの国のあいさつ？ブエノス ディアス）
正解は、スペインの「おはよう」のあいさつです。

さて、今日のお話は、あいさつ についてです。2学期に入って、目指すあいさつ「おきのす」はできていますか？

「お」は おじぎ（えしゃく）をして 「き」は きもちをこめて 「の」は のびのび げんきよく 「す」は すすんで さきに でしたね。

今日は、学校の場面ごとに、あいさつができているか、確認したいと思います。自分の中で、できているか、チェックしてみてください。

○あいさつチェック ① 朝、登校してくるとき

「おはようございます」のあいさつが、立哨の保護者の方に言えているかな？会った先生に言えているかな？友達に「おはよう」と言えているかな？

○あいさつチェック ② 登校してきて、教室に入るとき

「おはようございます」のあいさつが、担任の先生やクラスの友達に言えているかな？

○あいさつチェック ③ 授業の最初や終わりに

いい姿勢で、手の動きをとめて、背筋をピーンと伸ばし、前を向いて、あいさつできているかな？

○あいさつチェック ④ 廊下で、保護者の方や地域の方、お客さんと出会ったとき

おじぎ（えしゃく）ができていけるかな？また、「おはようございます」「こんにちは」などのあいさつが言えているかな？

○あいさつチェック ⑤ 給食のとき

気持ちを込めて、「いただきます」「ごちそうさま」のあいさつが言えているかな？

○あいさつチェック ⑥ 学校から帰るとき 下校のとき

「さようなら」のあいさつが言えているかな？

さあ、みなさんのあいさつチェックのできばえはどうだったでしょう？その場面場面に合ったあいさつが、できるようになればいいですね。

9月の児童朝会で、ボランティア委員会の人がお知らせをしてくれた「あいさつリレー運動」が、朝、続いています。6年1組から始まり、今週は1年3組です。これからも、他のクラス、他の学年へバトンを渡していってくれます。1学期は、ボランティア委員会の人、あいさつリーダーとして、頑張ってくれました。2学期からは、みんながあいさつリーダーです。

沖洲小学校が、あいさつでいっぱいの学校になるよう、一緒に頑張っていきましょう。

10月24日 「月の話 パート2」

先月の児童朝会で、月のお話をしました。月を見上げたときに、見える模様は「ウサギが餅をついている」ように見えるとお話しました。

○3択クイズ（南ヨーロッパの国では、月の模様は、何に例えられている？）

正解は、3番、カニです。南ヨーロッパの人たちには、月の模様をカニが片手を振り上げている姿に例えるそうです。

他の国や地方でも、それぞれの見え方、言い伝えがあります。例えば、ヨーロッパの北の方の国では、月の模様は、本を読む女の人に、南アメリカでは、ロバに例えられたり、ワニに例えられたりします。

同じ月の模様を見ても、国や地方によって、見え方が違います。その国や地方の歴史や文化によって、例えるものも変わってくるのだらうと思います。だから、日本の「ウサギが餅をついている姿」が正解で、後は間違い！ではなく、みんな正解です。

学校生活を送る皆さんに置き換えても同じです。クラスで、同じように生活していても、人それぞれ、感じ方や見方、考え方は違います。月の模様の見え方と同じように、自分だけが正解、後の人は間違いというのではなく、「なるほど。Aさんは、そう考えるんだ。それもいいなあ。」と互いの見方、考え方を認め、参考にしていければ、さらに自分自身の成長につながっていくと思います。